

# 令和3年度病害虫発生予察注意報第9号

令和3年9月3日  
愛 知 県

作物名：カキ  
病害虫名：炭疽病

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生程度 多い
- 3 注意報発表の根拠

(1) 8月下旬に県内22ほ場で行った巡回調査において、発病果率が0.32%（平年0.05%、前年0.05%）で、過去10年間と比較して最も高い。

(2) アメダスデータ（地点；名古屋）によると、8月中旬は長雨の影響で、平均気温が25.0℃で平年と比べて3.4℃低く、降水量が314.5mmで平年と比べて約7倍の量であり、本病の発生に好適な条件が続いた。

今後、降雨が続いたり、台風等による強風を伴う雨が発生した場合、さらに発生が増加するおそれがある。

#### 4 本病の生態及び防除対策

(1) 本病は、枝や果実の病斑（図）上に形成された分生胞子が降雨のたびに飛散し、感染が広がる。これから10月までの気温は、胞子の発芽適温である25℃前後で推移するため、この時期に降雨が多いと果実での被害が多くなる。特に、台風が通過すると感染が拡大する。

(2) ほ場内をよく観察し、発病枝や発病果実を見つけ次第除去する。  
前年に本病の発生が確認されたほ場は、特に注意する。

(3) 収穫前日数に注意し、表を参考に防除を実施する。特に、台風が接近する場合は事前に散布し、できなかった場合も台風通過後、速やかに防除する。

(4) 他県では、QoI剤（FRACコード：11）やベンゾイミダゾール系（FRACコード：1）の耐性菌が確認された事例もあるため、同一のFRACコードの農薬を連用しないようにする。



図 発病果実

表 カキ炭疽病に対する主な防除薬剤

| 薬剤名           | 成分名                | 使用方法 | 使用時期     | 本剤の使用回数 | FRACコード |
|---------------|--------------------|------|----------|---------|---------|
| ストロビードライフロアブル | クレソキシムメチル          | 散布   | 収穫14日前まで | 3回以内    | 11      |
| オーソサイド水和剤80   | キャプタン              | 散布   | 収穫7日前まで  | 5回以内    | M4      |
| トップジンM水和剤     | チオファネートメチル         | 散布   | 収穫前日まで   | 6回以内    | 1       |
| ナリアWDG        | ピラクロストロビン<br>ボスカリド | 散布   | 収穫前日まで   | 2回以内    | 11、7    |

FRAC コードは殺菌剤の作用機構による分類を示す。

FRAC コードの詳細は、[https://www.jcpa.or.jp/labo/jfrac/pdf/code\\_pdf01\\_2021.pdf](https://www.jcpa.or.jp/labo/jfrac/pdf/code_pdf01_2021.pdf) を参照する。

農薬散布の際は、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。

## 5 連絡先

愛知県農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室

電話：0561-62-0085（内線471）